

取扱説明書

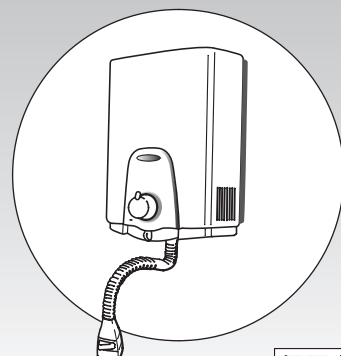
PI-5SK

ガス小型瞬間湯沸器

器具名：PH-5BRJ(2)

PI-5SK

取扱説明書



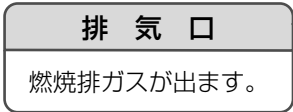
保証書付

もくじ

各部のなまえ	1
必ずお守りください	2
お使いになる前に	5
使いかた	7
湯温・ガス調節のしかた	8
熱湯がほしいとき	9
水がほしいとき	10
故障かな？と思ったら	11
凍結を防ぐには	13
点検とお手入れ	15
設置工事説明編	17
開梱および部品の確認	18
外形寸法図	18
機器の取り付けと配管工事	19
設置工事後の点検	20
試運転	20
お客様への説明	20
保管とアフターサービス	21
仕 様	21
保証書	22

このたびはガス小型瞬間湯沸器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くの東邦ガス営業所までお問い合わせください。



フロントカバー

点火確認窓
点火・消火を確認します。

給 気 口
 燃焼空気の入力口
 です。

電池ケース

切り替えボタン

キッチンシャワー
お湯・水が出ます。

内蔵型防熱フード

本 体 表 示
使用上の注意について
表示します。

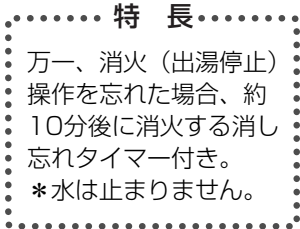
銘 板
型式名・使用ガスの種類 ・製造年月・製造事業者 等を表示しています。

水抜き栓
凍結予防のため機器内の水を抜くときにはずします。

出 湯 管

給水元栓
水道水の開閉を行います。

●●●●●●●●●● 操 作 部 ●●●●●●●●●●



お知らせサイン
点滅時には不完全燃焼防止装置が作動しています。点灯時には乾電池が消耗しています。

操作ボタン

出湯（点火）・出湯停止
（消火）・湯温調節・
出水・センシングノズル
の掃除を行います。

ガス量調節つまみ
ガス量を調節します。

●必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



高温注意



必ず行う

危険

■ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

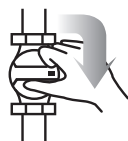
→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。

また、メーターのガス栓も閉じる。

②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。

③お買い上げの販売店かお近くの東邦ガスに連絡する。



もしもし...
〇×ガス会社さん
ですか...



警告

■換気に注意

締め切った部屋で長時間使用しない
使用中は窓を開けるか換気扇を回す

*ただし、自然排気式の給湯器および風呂釜を使用している場合は換気扇を回さずに窓を開けて換気してください。

→不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

*換気が十分でも消火する場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで点検・修理を依頼してください。



■給気口・排気口の定期点検

機器の給気口・排気口をふさがない

→ふさがっていると火災および不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



●必ずお守りください

⚠警告

■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと、爆発着火でやけどしたり、機器が故障したり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。特に転居した場合は必ずガスの種類が一致しているかどうか確認する

*わからない場合はお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所に連絡する

ガス瞬間湯沸器 不完全燃焼防止装置付
型式名
ガスの種類 (ガスグループ)
ガス消費量
製造年・月・製造番号
製造事業者名



■機器の設置(および付帯工事)

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し安全な位置に正しく設置して使用する



■ガス接続(ガス事故防止)

この機器はネジ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。



■屋内式機器

この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認する

→風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。



■火災予防

機器の周囲および排気口の上にタオル、ふきんなどを乗せない

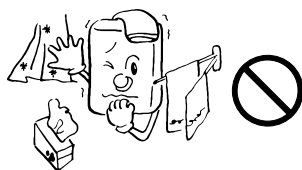
→火災の原因になります。

機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを、置いたり、使用したりしない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。

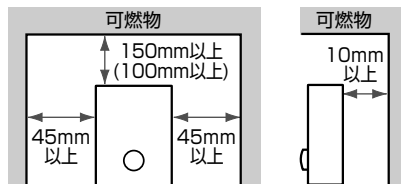
機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する

→火災の原因になります。



* () 内は不燃材の場合



■使用中の外出、就寝禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。



■やけどに注意

①使用中および使用直後は、操作部、キッチンシャワー以外には手を触れない

→機器が高温になっているため、やけどのおそれがあります。(特に排気口に注意)

②この機器は「熱湯型」なので、熱湯の取り扱いには十分注意する

③使用後すぐにお湯をお使いになるときは、最初熱いお湯が出ることがあるので十分注意する



⚠ 警告

■異常時の処置

- ① 点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる
- ② 「故障かな?と思ったら」に従い処置する
- ③ 換気が十分でもたびたび火が消える場合は、ただちに使用を中止し点検・修理をお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所に依頼する
- ④ 上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで連絡する

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる



⚠ 注意

■用途について

湯沸し以外の用途には使用しない

→ 思わぬ事故の原因になることがあります。

★ この機器は台所での洗い物等、少量のお湯をこまめにお使いになる場合に適しています。

配管給湯（先止め工事・ホースなどで延長）は絶対にしない

→ 機器内の水圧が上がり、水漏れ等の故障の原因になります。

■薬品類に注意

機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

→ 気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

■断水したときは

断水したときは使用できないので必ず操作ボタンを押して消火の状態にもどす

→ もどさないと通水時、勝手に点火してしまいます。

■フロントカバーをはずさない

フロントカバーは絶対にはずさない

→ はずしたまま使用すると、あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、安全装置が働かなくなるおそれがあります。



■風に注意

機器に風があたる状態で使用しない

→ あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



■分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない

→ 思わぬ事故や故障の原因となります。



■温泉水や井戸水・地下水の使用禁止

温泉水や井戸水・地下水を使わない
上水道を使用する

→ 水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

* 温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用はお客様の負担となります。



■機器の下での燃焼機器の使用禁止

燃焼排ガスの上昇する位置（こんろ・レンジ上方など）には設置しない。やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をする

→ 不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また機器の寿命を縮めます。



■廃棄の際の注意

機器を廃棄する際は、必ず乾電池を取りはずす

→ 思わぬ事故の原因になります。



●必ずお守りください

おねがい

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■設置場所に対する注意

網戸のある窓を開けて使用した場合、風の流れにより網戸を破損することがあります。網戸の位置に注意が必要です。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■スプレー類について

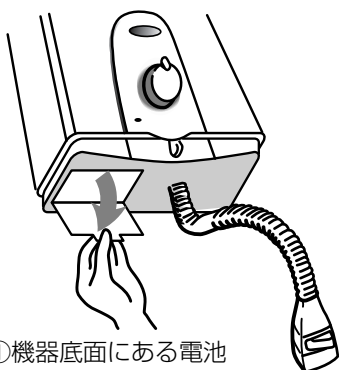
機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しないでください。電気部品の故障の原因になります。

●お使いになる前に

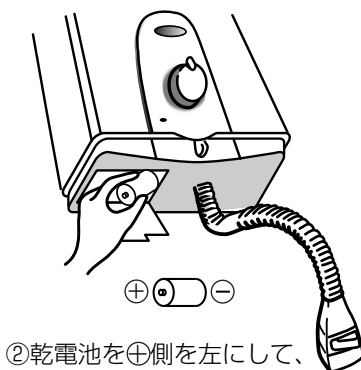
おねがい

乾電池の⊕と⊖を逆にして入れると作動しません。

1 乾電池を取り付ける（単1形1.5V 2個）



①機器底面にある電池ケースのフタを開けます。



②乾電池を⊕側を左にして、電池ケース右奥に入れます。

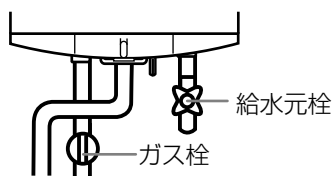


③最初に入れた乾電池を右奥に押しながら、2個目の乾電池を⊕側を左にして入れます。

④ケースのフタを閉めて完了です。

2 給水元栓を全開にする

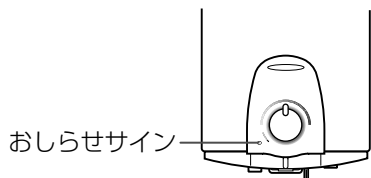
3 ガス栓を全開にする



● お使いになる前に

● 乾電池が消耗したとき ●

■おしらせサインが点灯したら、乾電池の交換の時期です



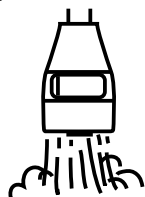
乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。

おねがい

- 2個とも新しい乾電池を使用し、古いものや違う種類のを混ぜて使用しないでください。寿命が短くなったり、乾電池が液漏れすることがあります。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

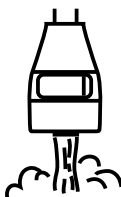
● キッチンシャワーの使いかた ●

シャワー出湯



- 食器洗いなどに適しています。

ストレート出湯



- 熱湯（高温）では必ずストレート出湯に切り替えてください。

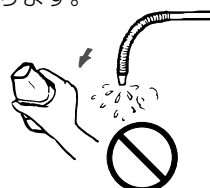
熱湯使用中はキッチンシャワーをシャワー出湯のまま使わない
→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

キッチンシャワーをはずさない
→お湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

出湯管カバーをはずさない

→使用中、使用直後には出湯管が高温になっており、触るとやけどのおそれがあります。



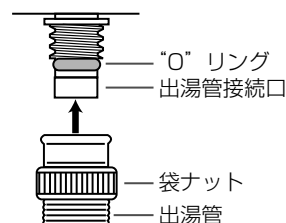
おねがい

出湯管を無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。折れや水漏れの原因になります。



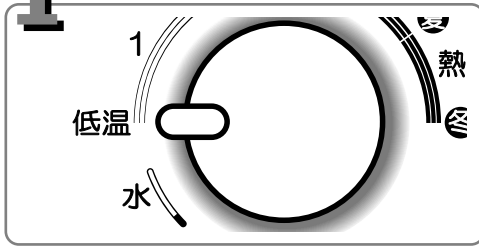
操作ボタンを押して消火しても、キッチンシャワーよりしばらく水がたれることがあります。故障ではありません。キッチンシャワーを垂直にすれば後だれは少なくなります。

また、出湯管接続部の袋ナットがゆるんでいることも考えられます。ゆるんでいる場合は、袋ナットを「カチッ」という感覚があるまでしっかり締め付け、そこからまたさらに最後まで締め付けてください。



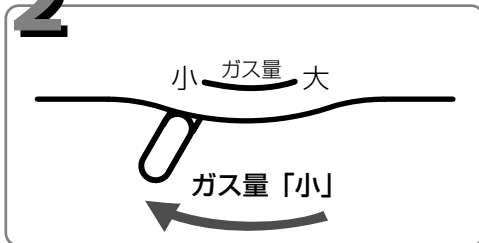
● 使いかた

1



操作ボタンが「低温」の位置にあることを確認する

2



ガス量調節つまみが「小」の位置にあることを確認する

3



操作ボタンの中央を止まるまでいっぱい押し、静かに手を離す

- パチパチ…と音がして点火し、お湯が出ます。
- 点火していることを点火確認窓より確認してください。
- 次ページを参考にして、お好みの湯温に調節してください。

⚠ 注意

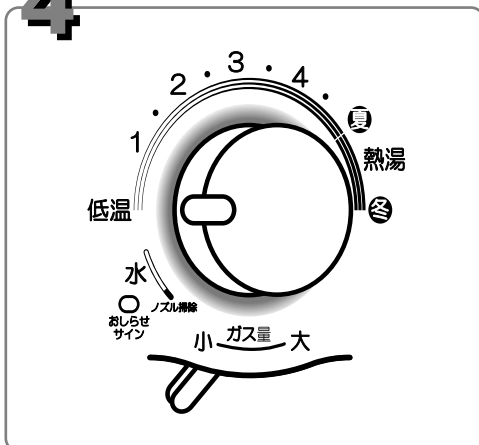
お湯を止めた後すぐに使用するときには、出始めのお湯に触れない

→熱いお湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

点火していないときは操作ボタンを押して消火の状態にし、しばらく（10～20秒程度）待ってから再度点火操作する（朝一番など時間を長くおいてご使用になるときは、1回の操作で点火しなかったり、すぐに消火することがあります）

→時間を置かずしに再度点火操作すると、爆発点火の原因になります。

4



操作ボタンを押し、手を離す

- 消火してお湯が止まります。
- 消火したことを点火確認窓より確認してください。

使用後は必ず操作ボタンを「低温」、ガス量調節つまみを「小」にもどす

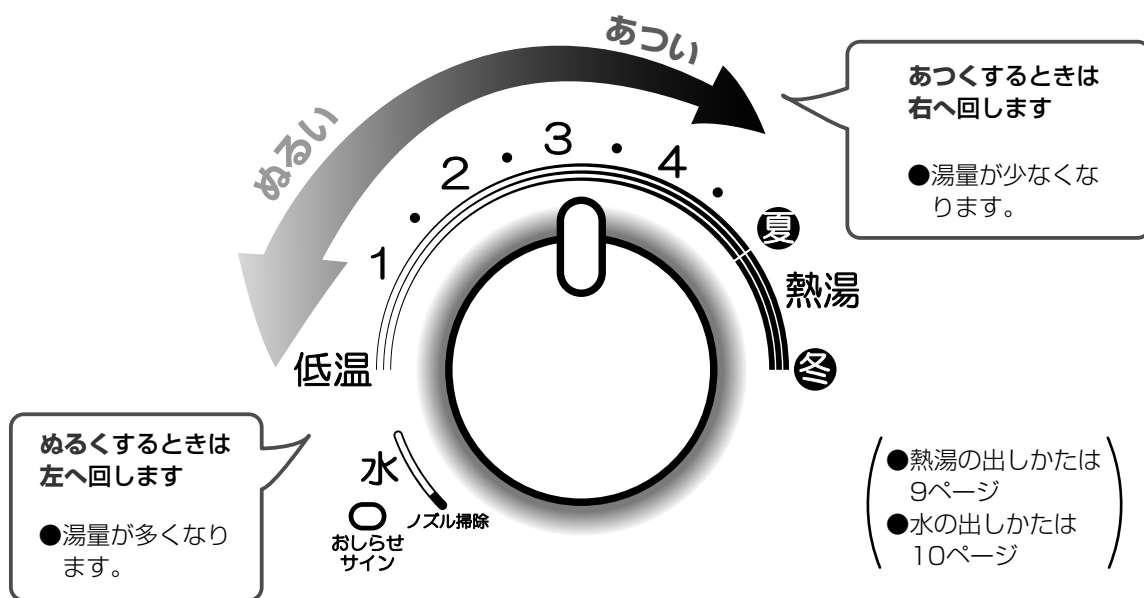
⚠ 注意

→もどさないと次にご使用のとき、思わぬ高温のお湯が出てやけどのおそれがあります。

* 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

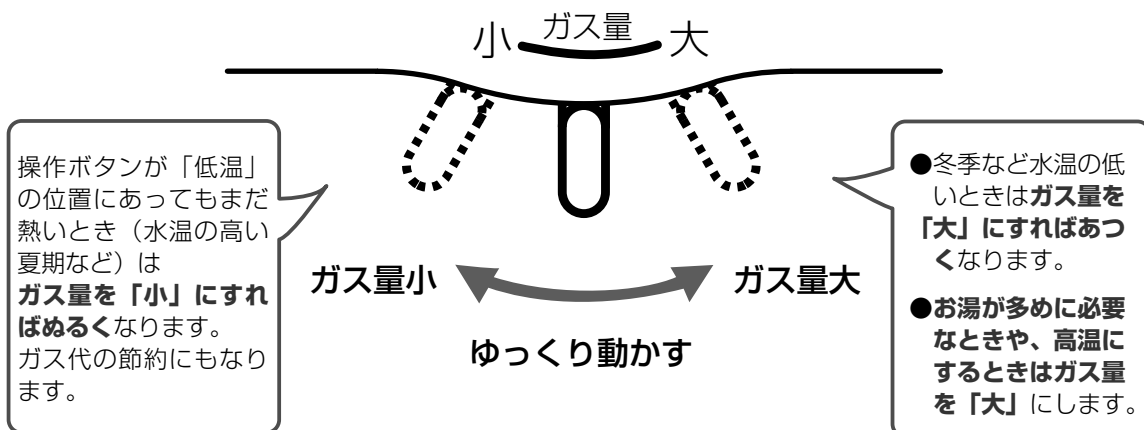
●長時間使用しない時は、ガス栓、給水元栓を閉めておきます。

湯温の調節のしかた



ガス量の調節のしかた

湯温調節をした後、さらにガス量を調節することできめ細やかな温度に対応できます。



●使いかた・熱湯がほしいとき

⚠警告

キッチンシャワーから蒸気やお湯が吹き出るような状態で使用しない

そのときはただちに操作ボタンを押して消火する

→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

熱湯がかからないように注意する

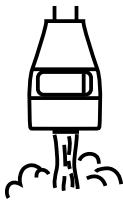
→やけどのおそれがあります。

⚠注意

熱湯使用中はキッチンシャワーをシャワー出湯のまま使わない

→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

ストレート出湯



- 熱湯（高温）では必ずストレート出湯に切り替えてください。

熱湯使用中はキッチンシャワーに触れない

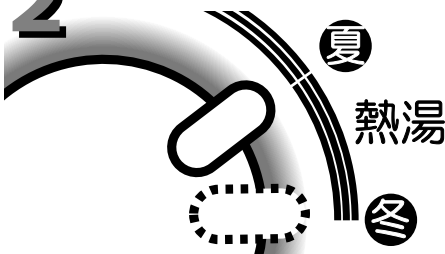
→熱湯が飛び散りやけどのおそれがあります。

使用後は必ず操作ボタンを「低温」、ガス量を「小」にもどす

→次にご使用のとき、熱湯が出てやけどのおそれがあります。

1 キッチンシャワーをストレート出湯に切り替える

2



操作ボタンを「夏」または「冬」にする

- 水温の高い季節（春から秋にかけて）は「夏」、水温の低い季節（冬）は「冬」をめやすにします。

3

ガス量を「小」にする

4

操作ボタンを押して点火する

5

ガス量を少しずつ「大」の方向へ動かし、好みの湯温に調節して使う

6

消火後、操作ボタンを「低温」、ガス量を「小」にもどす

水がほしいとき

おねがい

出湯中の場合は操作ボタンを押して消火してください。
操作ボタンが押されている状態では、操作ボタンは「低温」より左に回りません。

1

低温

水

操作ボタンを「水」にする

●水が出ます。

2

1

低温

止めるときは「低温」にもどす

おねがい

水を止めた後すぐに操作ボタンを押した場合、点火しないことがあります。
操作ボタンを押して消火の状態にし、数秒間待ってから再度点火操作してください。

●故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所までご連絡ください。

現 象		原 因	処 置 方 法	参照ページ
点 火 し な い	水は出ている	ガス栓が閉めてある	ガス栓を全開にする	5
		ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	5
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	5
		点火操作が不適切	「使いかた」に従う	7/8
		ガス配管に空気が残っている	点火操作を繰り返す	7
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	16
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
	水も出ない	給水元栓が閉めてある	給水元栓を全開にする	5
		点火操作が不適切	「使いかた」に従う	7/8
		断水している	使用をいったん中止する	4
		凍結している	解凍するまで使用を中止する	—
使用 中 に 消 火 す る	水は出ている	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	5
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	5
		ガス配管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	7
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	16
		安全装置が作動している	「安全装置が作動したときの処置方法」に従う	12
		消し忘れタイマーが作動している		
	水も止まる	断水している	使用をいったん中止する	4
高温のお湯が出ない		ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	5
		湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	7/8
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
低温のお湯が出ない		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	5
		湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	7/8
高温では点火するが低温ではしない		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	5
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
おしらせサインが点灯		乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	5/6/15
おしらせサインが点滅		不完全燃焼防止装置が作動している	「安全装置が作動したときの処置方法」に従う	12
出湯停止後「チリチリ」という音がする		熱による膨張・収縮による音で、異常ではありません。		

安全装置の種類

立消え安全装置	炎が風などで消えると、自動的にガスを止めます。
不完全燃焼防止装置	機器が不完全燃焼するような状態（お部屋の換気不足や熱交換機が目詰まり）になる前にガスを止めます。
過熱防止装置	使用中機器内の温度が異常に高くなると、自動的にガスを止めます。

安全装置が作動したときの処置方法

途中消火に気付かれたときは、次の処置をしてください

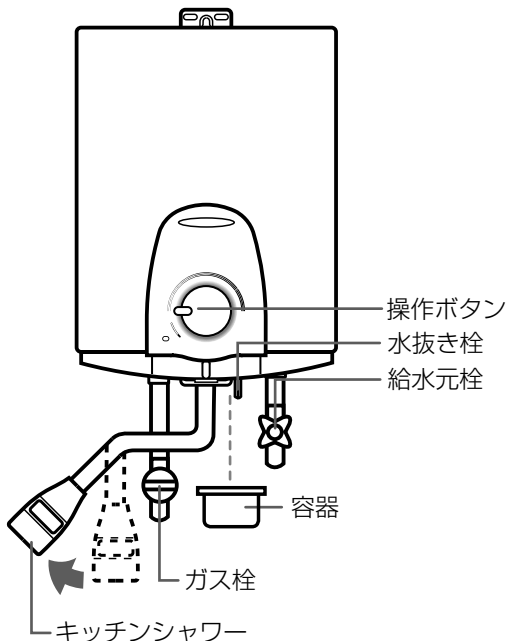
- ①すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。
- ②窓や戸を開けて換気をしてください。
- ③しばらく（約1分）待ってから、操作ボタンを押して点火してください。
- ④点火しなかったり、途中消火が繰り返し起こるときは、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所までご相談ください。

●凍結を防ぐには

冬期には機器や配管内の水が凍結し、機器を破損することがあります。おやすみ前や、また日中でも凍結のおそれのある厳寒期には、機器の使用直後に必ず水を抜いてください。水抜きせずに凍結して機器や配管を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担になります。



●●●●●●●●●● 水の抜きかた ●●●●●●●●●●



1. ガス栓を閉めます。
2. 給水元栓を閉めます。
(不凍栓使用時は、不凍栓を閉じ、給水元栓を全開にします)
3. 操作ボタンを「低温」にします。
4. キッチンシャワーをストレート出湯にし、少し傾けておきます。
5. 水抜き栓より水が流れますので、容器を用意します。
6. 水抜き栓を左に回してはずし、水を抜きます。
7. 操作ボタンを「低温」から「水」にします。
8. 排水完了後、キッチンシャワーを5、6回振り、キッチンシャワー内の残水を排出します。

再度使用するまでそのままにしておきます。

- 3および7の操作を誤ると、水抜きできずに凍結する場合がありますので、確実に操作してください。
- 給水配管も凍るおそれのあるときは、不凍栓などで配管内の水を抜いてください。
- 給水配管の凍結予防は、水道事業者へ依頼してください。

水抜き後の使いかた

1. 水抜き栓を締め込みます。

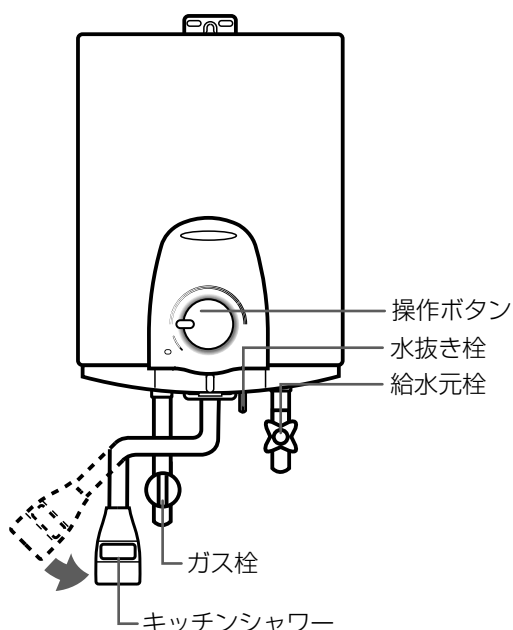
おねがい

水抜き栓は確実に締め込んでください。
締め込み不足の場合、水漏れしたり、
高温のお湯が出ないことがあります。

2. キッチンシャワーを垂直にもどします。
(後だれを少なくするためです)
3. 操作ボタンを「熱湯」にします。
4. 給水元栓を開けます。
5. 操作ボタンを押して、キッチンシャワーより水が出る
ことを確認します。

おねがい

操作ボタンが通常の動きより重くなって
いたり動かない場合、または「熱湯」で
通水しない場合は、凍結していますので
解凍するまで使用しないでください。



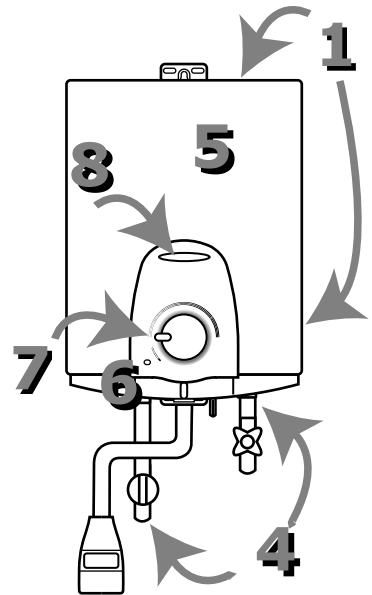
6. 再度操作ボタンを押して水を止め、「低温」にします。
7. ガス栓を開けて使用します。

●点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで点検・修理を依頼してください。
- お手入れの際には必ずガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント（ご使用のたびに）

1	給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか？
2	機器のまわりに燃えやすいものはありますか？
3	運転中に異常音は聞こえませんか？
4	機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか？
5	外観に変色等の異常はありませんか？
6	乾電池は消耗していませんか？ おしらせサインが点灯する場合は、乾電池が消耗していますので取り替えてください。（5、6ページ参照）



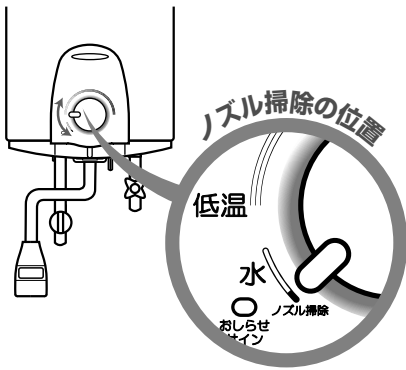
（月に2～3回）

7	湯温調節を長い間同じ位置にしていますか？ 湯温調節は水垢等により動かしにくくなる場合がありますので、月に2～3回程度湯温調節の範囲内で操作ボタンを回してください。
8	センシングバーナのノズルが汚れていませんか？ 長期間使用すると点火しにくくなったり、使用中に消火することがあります。（次ページ参照）

●●●●●●●●●● 定期点検のおすすめ ●●●●●●●●●●

より長く安全にお使いいただくために、2年に1度程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所までご相談のうえ、お申しつけください。（有償）

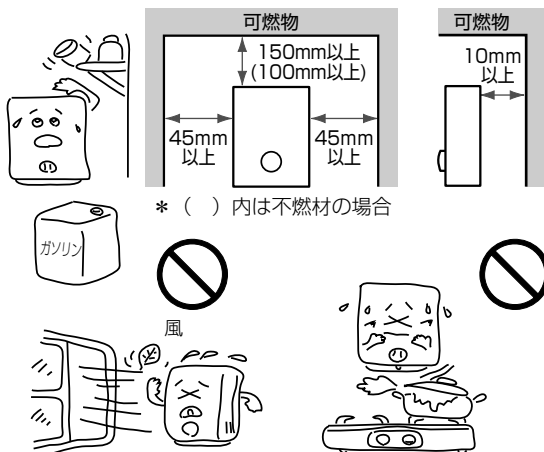
お手入れのしかた（月に1回程度）

本体	水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る おねがい シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
センシングバーナのノズル	点火しにくくなったり、使用中に消火するような場合は掃除する（月に2～3回） ①ガス栓、給水元栓を閉めます。 ②操作ボタンを押して消火の状態にし、左に止まる位置まで回しきる操作を数回行います。 ③操作後は「低温」に戻し、ガス栓、給水元栓を開け点火操作し、正常に燃焼することを確認してください。 
キッチンシャワー	水垢等でキッチンシャワーが目詰まりした場合は掃除する 細いピンか針金のようなもので、穴を変形させないように掃除します。 ● キッチンシャワーははずさない 

設置工事説明編（工事をされる方へ）

警告

- この機器を安全に正しく設置していただくために、以下の内容をご理解いただいてから工事を行ってください。
- 必ず、銘板に表示されたガス種を使用してください。ガス種が異なると、火災や機器の破損の原因となることがあります。
- ガス配管工事のうちLPガス配管は「液化石油ガスの保安の確保および取り引きの適正化に関する法律」に従い、液化石油ガス設備士が、都市ガス配管はガス事業法に従い、指定工事店が行ってください。
- ガソリン、ベンジン、接着剤、スプレーなどの引火性危険物を扱う場所には設置しない。
引火して火災になることがあります。
- 換気（給気、排気）が得られる所に設置する。浴室内へは絶対に設置しない。換気が不足して不完全燃焼防止装置が働くことがあります。
- 火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する。これ以下ですと火災になることがあります。
- 棚の下など落下物が有り得るところには設置しない。火災の原因となります。
- 冷暖房機の冷・温風が直接当たる場所や、風が吹き込むところへは設置しない。風によりあふれた炎や熱から火災になったり、網戸を破損することがあります。また、不完全燃焼防止装置が働く原因にもなります。



注意

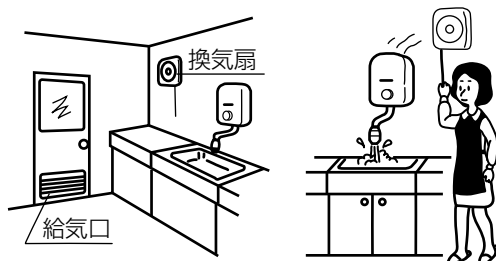
- 工事内容に応じた安全策（安全靴、安全帽、手袋の着用等）を講じて作業を行ってください。
- 給水配管工事は給水条例に従い、水道事業者の指定工事店が行ってください。また、配管材料は水道局の承認品か検査合格品を使用してください。守りませんと飲用に適さなかったり、水漏れすることがあります。
- 機器上方が150mm以上離れていても、400mm以内の上面、後面が塗装面、ビニールクロス、一部が樹脂製の吊り戸棚、薄いベニヤ等の場合は排気熱により変形、変色することがあります。石膏ボード等で有効な防護を行ってください。
- 換気（給気、排気）が十分得られるところに設置するか給気口と換気扇を設けてください。
①換気扇の大きさは同時に使用される機器の合計ガス消費量1.16kW当り43.2m³/h以上が必要です。換気扇の大きさは下表を参考にしてください。

換気扇の羽根径(cm)	機器合計ガス消費量 kW
15	12.2以下
20	16.3以下
25	24.4以下

②本機器はできるだけ換気扇連動スイッチ（別売）と接続してご使用ください。

③給気口の大きさは、有効面積でガス消費量1.16kWあたり10cm²以上が必要です。本機器のみの場合は100cm²以上です。

- 特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等）を扱う場所には設置しないでください。機器が破損することがあります。
- この機器は屋内用です。屋外には設置しないでください。雨、風、雪や凍結により機器が破損します。
- 機器の周囲には、火災予防上のスペースの他、メンテナンス用として前方600mm以上、側方200mm以上離してください。
- 燃焼排ガスの上昇する位置（こころ・レンジ上方など）には設置しないでください。やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をしてください。不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また機器の寿命を縮めます。

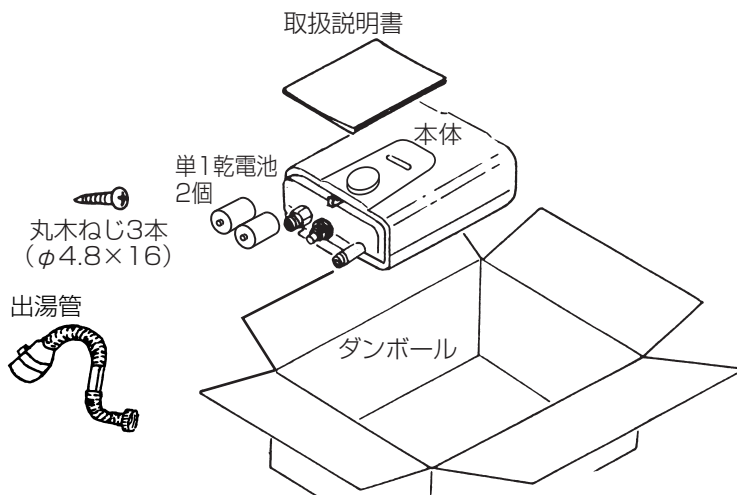


1.開梱および部品の確認

同梱部品をご確認ください。

残水注意

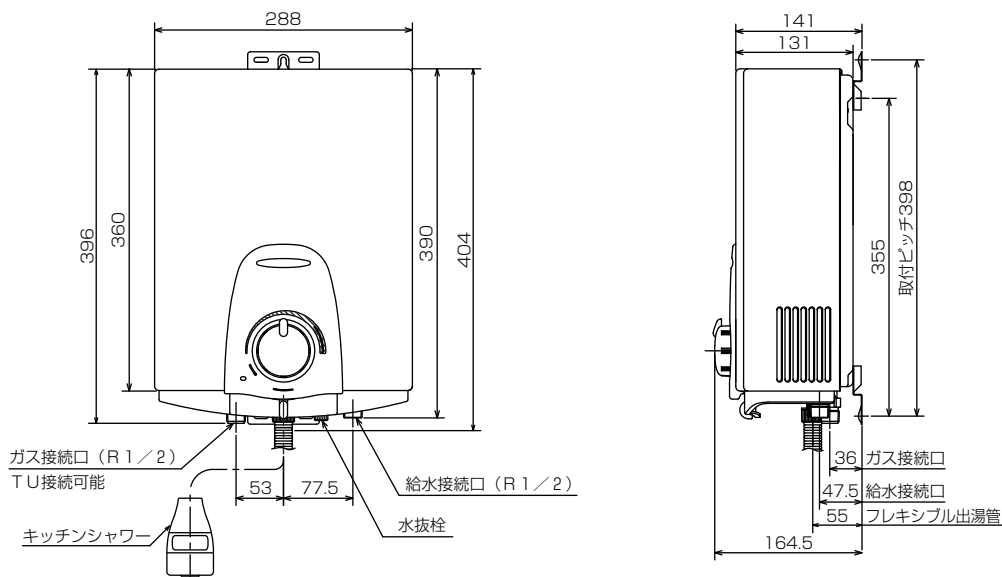
機器を梱包から取り出すときおよび機器を取り付けるときに、給水・給湯接続口より残水が出ることがありますので、ご注意ください。残水は工場出荷検査時に使用した水で、異常ではありません。



別売部品のご案内

- 湯沸器取付金具 ———— 取り付け面が窓になるときにご利用ください。
- 換気扇連動スイッチ（+機器本体の検出部組立） ———— ご使用時に自動的に換気扇を回します。
- 出湯管・出湯管カバー ———— 35cm～1mまでの長さ違いがあります。
- 遮熱板（防熱板） ———— *詳細はお求めの販売店までおたずねください。

2.外形寸法図



設置工事説明編(工事をされる方へ)

3.機器の取り付けと配管工事

機器の取り付け

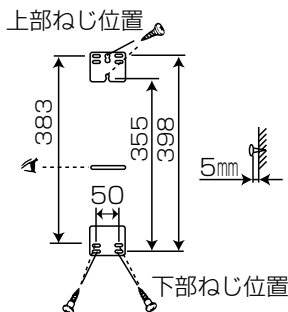
●取り付けの高さ

点火確認窓の高さがおよそ目の高さくらいの位置が一番便利です。

●機器の設置

機器の重さは5.0kgです。

- ①上部ねじ位置に丸木ねじをはめ込み、設置面(壁柱等)に右のように約5mm空けて設置する。
- ②ブラケット上部中央の孔を①の丸木ねじに引っ掛け、奥まではめ込み、①の丸木ねじを締め付け後、下部2箇所を丸木ねじにて固定してください。



部品の取付け

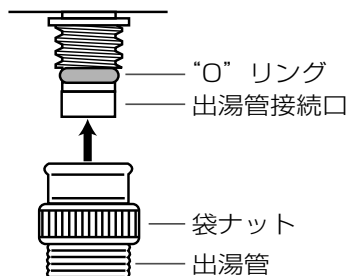
●乾電池の取付け

電池ケースは機器下面左側にあります。乾電池を梱包より本書の5ページの「乾電池を取付ける」項に従い、電池ケースに入れてください。

* 付属の乾電池は工場出荷時に納めていますので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

●出湯管の取り付け

- ①機器下面中心の出湯管接続口に“O”リングが取り付けられていることを確認してください。
- ②出湯管を出湯管接続口に差し込み、袋ナットを「カチッ」という感覚があるまでしっかりと締め付け、そこからまたさらに最後まで締め付けてください。

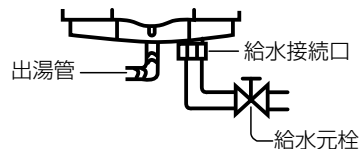


給水接続工事

●給水接続径はR1/2 (15A) です。

●給水部には必ず給水元栓を取り付けてください。保守点検に必要です。

●供給水圧は60kPa以上としてください。



- 湯沸器には大変精巧な装置がついています。湯沸器までの配管が終わり湯沸器に接続する前に必ず、水を流し配管内のごみ、砂、糸くず、シール剤などを流し去った後接続してください。

ガス接続工事

●ガス接続工事は、ガス供給業者または有資格者にご依頼ください。

●ガス接続部はねじ接続であり、金属管またはLPガスの場合は金属フレキシブルホースか液化石油ガス用継手金具付低圧ホース、都市ガスの場合は金属可とう管か強化ガスホースでの接続をお願いします。

●ガス接続径はR1/2 (TU) です。

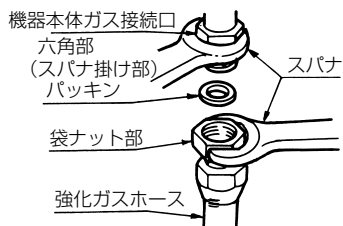
●ガス接続元には、必ずガス栓を取り付けてください。保守点検に必要です。

●接続するときは、本体の六角部にもスパナを掛け、本体に無理な力が加わらないように締め付けてください。

●強化ガスホースで接続する場合

①強化ガスホースの曲げ半径は90mm以上としてください。

②袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。



4.設置工事後の点検

● チェックリスト

点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器の適合	銘板（ガス種）は使用ガス種に適合していますか。	3、17	
機器およびその周辺	可燃物との離隔距離および防火措置は十分ですか。	17	
	日常の使用および点検に支障はありませんか。	15、16	
	同梱部品等の取り付け状態は正しく行いましたか。	18、19	
	機器の設置場所は適切ですか。	17	
	機器は堅固に取り付けられていますか。	19	
換気設備	換気扇は取り付けられていますか。	17	
	十分な給気ができる設備がありますか。	17	
給水接続	給水圧は十分ありますか。	19	
	適切な材料が使用されていますか。	17	
	接続部の水漏れはありませんか。	19	
	給水元栓は取り付けられていますか。	19	
ガス接続	ガス接続は正しく施工されていますか。	17、19	
	ガス漏れはありませんか。	19	
	ガス栓は取り付けられていますか。	19	

5.試運転

- 4の「設置工事後の点検」に異常がなければ試運転を行います。本書の7ページ～10ページの「使いかた」に従い、正常に作動することを確認してください。
- 試運転が終わりましたら、お客様がすぐに使用される場合を除き、ガス栓を止め、本書の13ページに従い、水を抜いておいてください。水を抜きまないと、冬期には凍結し、機器が破損することがあります。

6.お客様への説明

- ご使用方法を本書に従いお客様へ説明してください。また、本書をお客様ご自身が必ずお読みになり、ご理解したうえで、ご使用になるよう説明してください。
- 本書の裏表紙の保証書に関する事項をお客様に説明してください。
- 本書は必ずお客様へお渡しください。また、すぐに取り出せるところに大切に保管するよう説明してください。引っ越しなどで機器を移動する際にも必要になります。

保証書

品 名

PI-5SK

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この保証書は東邦ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所に修理をご依頼ください。

無料修理保証期間

本 体	(お買い上げ日より)	1年
-----	------------	----

保証期間中でありましても次の場合は有料修理といたします。

- (イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
- (ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
- (ニ) お買い上げの販売店、あるいは東邦ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
- (ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
- (ヘ) 本書を紛失された場合。

お買い上げ日	平成	年	月	日
--------	----	---	---	---

販売店	住所・店名
	電話 ()

保証責任者 東邦ガス株式会社

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号

修理記録

年 月 日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

お客さまへ

- この保証書をお受け取りになるときに販売年月日、販売店名が記入してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
- この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

